

袈裟丸山山行報告



【山行日】2018年5月4(金) 晴れ時々霰

【集 合】岩舟支所P AM 6:30

【費 用】マイカー1台 : 1,400円

【メンバー】CL:鈴木、石川、小松原、関、鶴見

【コースタイム】岩舟支所 P6:30=折場登山口

P8:30/8:45 ~ 賽の河原 9:30/9:40 ~ 小丸山

10:35/10:45~前袈裟丸山 11:50/12:30~小丸山

13:30/13:40~賽の河原 14:50/15:00~

折場登山口 15:30/15:45=岩舟支所 P18:00

5月3日・4日に残雪の燕岳に登る予定だったが、前線と寒気の影響で山は大荒れの予報になり中止を余儀なくされた。燕岳山行のメンバーから、4日だけでもどこか山に登りたいとリクエストがあり根本山沢コースを計画した。ところが根本山登山口まで行くと大粒の雨が落ちて来て、「沢コースは登れないので尾根コースに変更する」と言うので、「それなら袈裟丸山に登れませんか？」と言うので袈裟丸山に向かった。三境林道を通り草木ダムを草木橋で渡って、沢入から林道小中西山線を進み折場登山口に着いた。駐車場はすでに満車だったが、登山口前の路肩に1台分のスペースがあったので、ラッキーと車を止めた。こちらは晴れていて雨も降らなかったようで、道路も濡れてなかった。支度を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。案内板脇の登山口から登山道を登り、少し進むとウゴクミツバツツジが出迎えてくれる。新緑が気持ち良い尾根をしばらく進むと、笹が出て来て開けた場所に出る。ここで休憩を取り、展望を楽しみながら衣服調整して水分を補給する。正面には弓の手尾根がピンクに染まり、谷の向こうにはこれから目指す袈裟丸山が聳えている。



そこから進むと展望台があるつつじ平となり、アカヤシオが見られるようになる。さらに進むと石積や石地蔵がある賽の河原に出て、ここで塔ノ沢コースと合流する。ここからは県境尾根を歩くようになり、カラマツの林を抜けると左右にアカヤシオの花が色鮮やかに咲いている。「ウワ~~綺麗こんなに咲いているアカヤシオは初めて」と皆大喜び。「袈裟丸山に変更して本当に良かったね」と皆さんニコニコ顔で嬉しそう。あっちに行って写真を撮り、今度は反対側と写真を撮るのが忙しい。小丸山まではアカヤシオの大群落で山の奥までピンクに染まり、写真を取りながら着いてしまった。

あっちに行って写真を撮り、今度は反対側と写真を撮るのが忙しい。

小丸山まではアカヤシオの大群落で山の奥までピンクに染まり、写真を取りながら着いてしまった。

小丸山まではアカヤシオの大群落で山の奥までピンクに染まり、写真を取りながら着いてしまった。

ところが小丸山に着くと急に暗くなり、風も強く霰が降ってきた。袈裟丸山も雲の中に隠れ、いきなりドーンと雷鳴が轟いた。先に着いて休んでいた山ガールの2人組は「私たちはここで引き返します」と残念そう。我々は休憩してしばらく様子を見ることにし、木の下で果物や大福を食べエネルギーを補給する。休んでいるうちに明るくなり、霰も止んできたので小丸山頂で記念写真を撮り袈裟丸山に向かう。ここからは一旦下り避難小屋を過ぎると再び登りになり、ササとダケカンバの道を進む。



まもなく急な登りに掛かり、ロープや樹木を頼りに登り切ると前が開け、ササの尾根に出る。眺望を楽しみながら緩やかに尾根を進むと、一等三角点が置かれた、前袈裟丸山山頂に着く。山頂で記念写真を撮り、風が当たらない東側の斜面に陣取りランチタイムとする。本日の山ご飯は、皆さんが大好きな焼きそばにした。

Kさんは食べられないが、野菜たっぷりの焼きそばと筍の煮つけ、生姜の甘酢漬け等美味しくいただいた。お腹いっぱいになったら、もう一度山頂標識の前で写真を撮り下山する

下山は往路を戻り避難小屋で休憩し、女性達はトイレを済ませる。このころになると天気がすっかり良くなり、アカヤシオが一層鮮やかで素晴らしい。特に小丸山から雨量計があるピークまでの尾根はアカヤシオの花でピンクに染まり見応えがある。アカヤシオが丁度見後の時季に当たり、神様は我々を見捨てなかったと感謝した。つつじ平に戻り展望台に上がって景色を楽しみ、リンゴやまんじゅうを食べ「本当に今日はラッキーだったね」と喜びを分かち合った。ここから一気に登山口まで下り、靴を履き替えトイレを済ませ帰路につく。行き先を急きょ変更し、帰着時間は1時間遅くなったが無事に岩舟支所に戻り、大満足の1日になった。

